



登録銘柄コード番号 6416

2010年1月28日

桂川電機株式会社

会社説明資料

(第65期 第2四半期概況含む)

KIP Color 80



LED フルカラープリンタ
A0 サイズ



KIP 3100



大判複合機
A0 サイズ



image solution company

当資料をご覧くださいにあたって

注1) 当資料は、会社説明を目的としてのみ作成されたもので、証券等の売買の勧誘を目的としたものではありません。投資に関する決定は、当社が発行する有価証券報告書等の財務資料をご覧くださいとうえで、投資家ご自身のご判断において行われますようお願い申し上げます。

注2) 本資料に掲載されている内容は、本資料作成日時点において入手可能な情報及び将来の業績に影響を与える不確実な要因に関わる仮定を前提としており、将来の業績等は当社を取り巻く経済環境、市場動向、為替レートの変動など、様々な要因によって異なる結果と成り得るものでありますことをご承知おき下さい。

本説明資料の構成

この資料は次の事項により構成されています。

1. 第 60 期（H16.4～H17.3）～第 64 期（H20.4～H21.3）の業績経緯
2. 第 65 期第 2 四半期の概要
3. 会社概要

1. 過去業績データ（第 60 期～第 64 期）

平成 17 年 3 月期～平成 21 年 3 月期の当社業績の経緯は次のとおりです。

連 結

(単位:百万円)

期・年度 項 目	第 60 期 平成 16 年 4 月～平成 17 年 3 月	第 61 期 平成 17 年 4 月～平成 18 年 3 月	第 62 期 平成 18 年 4 月～平成 19 年 3 月	第 63 期 平成 19 年 4 月～平成 20 年 3 月	第 64 期 平成 20 年 4 月～平成 21 年 3 月
売上高	14,678	16,380	20,849	20,930	15,860
営業利益	1,406	1,722	2,620	2,635	1,183
経常利益	1,649	2,039	3,001	2,428	1,094
当期純利益	930	1,193	1,625	1,243	146
総資産	20,195	22,024	24,328	23,836	21,627
純資産	15,793	17,180	18,682	19,446	17,919

単 体

(単位:百万円)

期・年度 項 目	第 60 期 平成 16 年 4 月～平成 17 年 3 月	第 61 期 平成 17 年 4 月～平成 18 年 3 月	第 62 期 平成 18 年 4 月～平成 19 年 3 月	第 63 期 平成 19 年 4 月～平成 20 年 3 月	第 64 期 平成 20 年 4 月～平成 21 年 3 月
売上高	10,404	10,745	13,967	13,224	9,834
営業利益	848	824	1,483	720	-530
経常利益	1,064	1,077	1,708	380	-442
当期純利益	483	516	804	184	-774
総資産	18,119	19,511	20,134	19,498	16,784
純資産	14,955	15,342	15,928	15,825	14,757

2.第 65 期 第 2 四半期の連結業績の概要

本第 2 四半期の連結業績の概要は次のとおりです。

(1) 連結業績の状況 (平成 21 年 4 月 1 日～平成 21 年 9 月 30 日)

(単位 百万円)

	売上高	営業利益/損失	経常利益/損失	四半期純利益
第 65 期第 2 四半期	5,289	△604	△690	△792
第 64 期第 2 四半期	9,584	1,002	1,111	598
(参考) 第 64 期	15,860	1,183	1,094	146

(2) 第 2 四半期総括

当第 2 四半期（平成 21 年 7 月～平成 21 年 9 月）におけるわが国経済は、昨年秋以降の金融危機による世界同時不況の影響で、けん引役の輸出や設備投資が落ち込み、企業収益は大幅な減益となりました。景気は在庫調整の一巡や、アジア経済の持ち直しで輸出環境の改善が明確となって、一部下げ止まり感は見られたものの、急激な円高や雇用情勢の悪化で個人消費が低迷して厳しい状況で推移いたしました。

当社グループが属する事務機器業界におきましては、景気の低迷、需要の減退、設備投資の販売競争の激化で厳しくなっております。しかし、プリンタやソフトの進化により、ハードウェア、ソフトウェア、サポートを最適に組み合わせて、プリンタを出力機として使用するだけでなく顧客のニーズに合わせたソリューションを提供して新規需要の創設で市場の拡大に努めてまいりました。

このような状況下で当社グループは、ヨーロッパ市場の直販体制を更に強化するため、フランスの Editions Solutions & Systemes SA 社を買収いたしました。また、国内営業部と販売子会社株式会社

第 6 5 期第 2 四半期の連結業績の概要

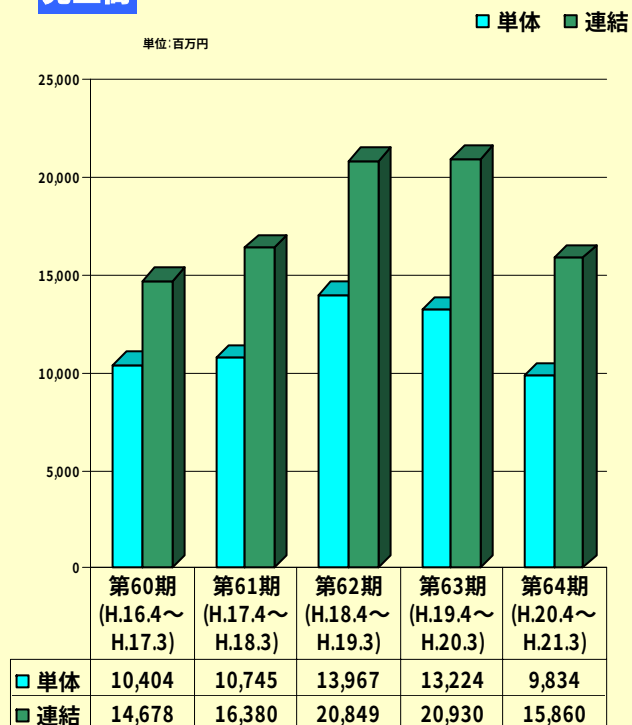
ケイアイピーの営業部門を統合して、営業体制の強化、保守体制の効率化、製販統合で市場のニーズに迅速に対応できる体制の構築、更には、顧客の声を生産部門にフィードバックし、顧客の求める商品をタイムリーに提供できる体制を確立いたしました。

しかし、企業収益は依然として低迷し、設備投資に回復の兆しが見られないこと、9月の更なる円高の進行などの影響を受けて、当社グループの当第2四半期の売上高は29億14百万円と、前年同四半期連結会計期間に比べて19億67百万円の減収となりました。

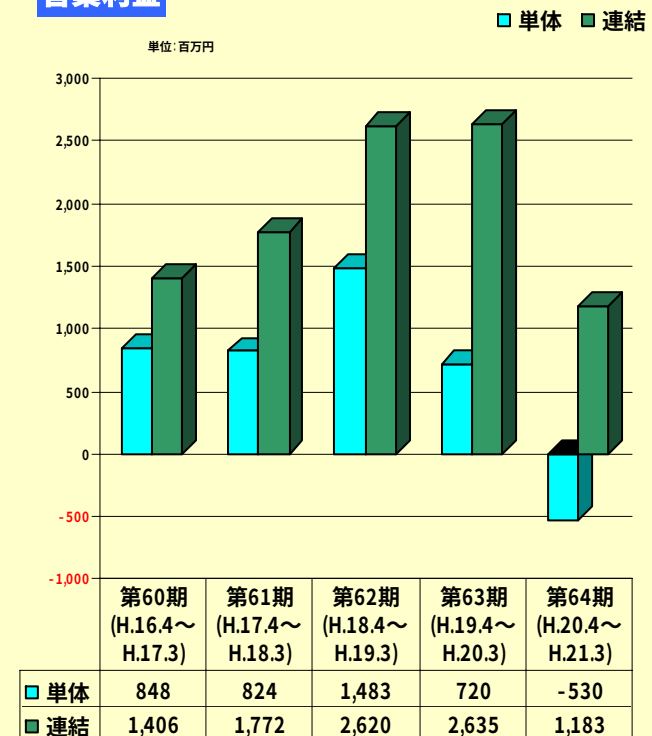
利益面につきましては、生産体制の見直しや経費削減等改善してまいりましたが、売上の減収が大きく影響し、当第2四半期の営業利益は、前年同四半期連結会計期間に比べて9億41百万円減少し5億14百万円の損失、経常利益は、前年同四半期連結会計期間に比べて7億25百万円減少し5億9百万円の損失、当第2四半期当期純利益は、前年同四半期連結会計期間に比べて4億24百万円減少し4億92百万円の損失となりました。

業績推移(単体/連結)

売上高



営業利益

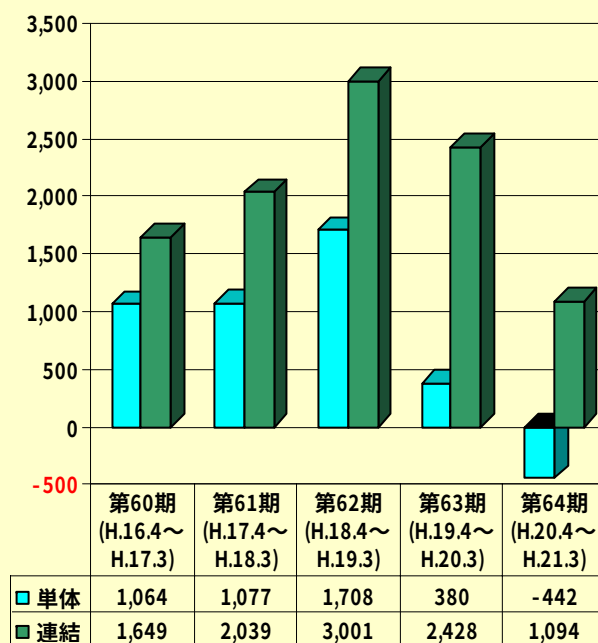


業績推移(単体／連結)

経常利益

単位: 百万円

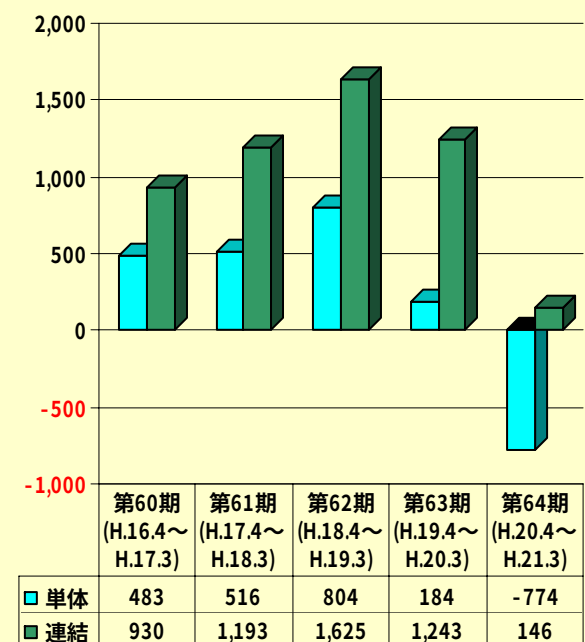
■ 単体 ■ 連結



純利益

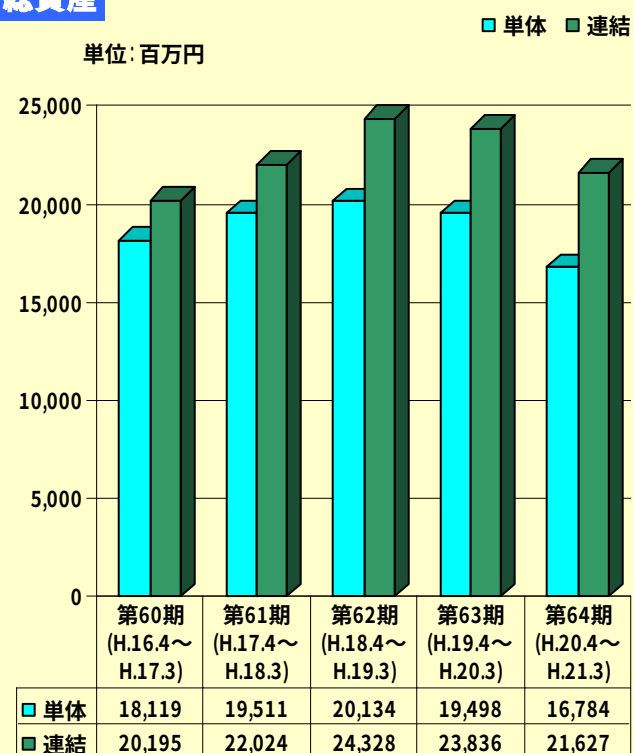
単位: 百万円

■ 単体 ■ 連結

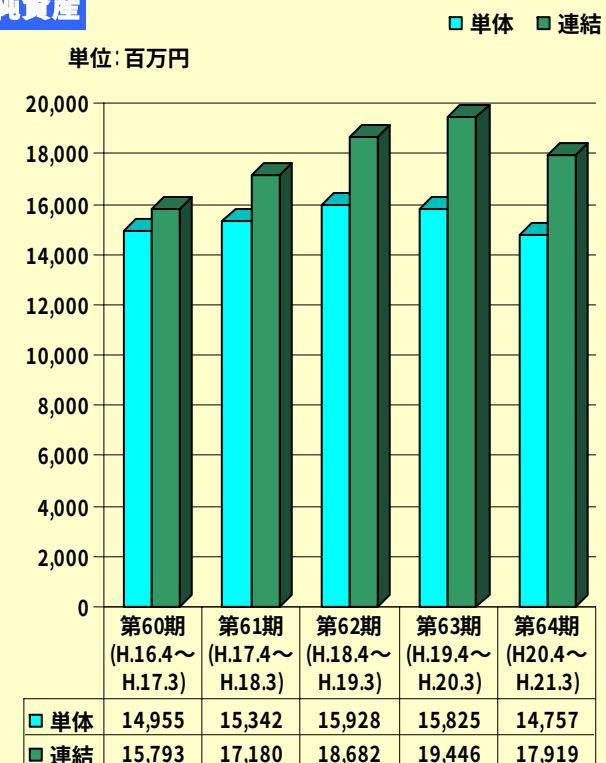


財 政 状 態 推 移 (単体／連結)

総資産



純資産



会 社 概 要

社 名 桂川電機株式会社
本 社 東京都大田区矢口1-5-1
実質本社 東京都大田区下丸子4-21-1
代表取締役社長 渡 邊 正 禮
会社設立 1954年2月
JASDAQ 1991年9月
資本金 4,651百万円
社員数 単体253名 連結597名
(平成21年9月30日現在)

関連会社

株式会社ケイアイピー
KIP America, Inc.
KIP Europe S.A.
KIP UK Ltd.
KIP (Hong Kong) Ltd.
KIP Business Solution Korea Ltd.
桂新電機株式会社
台湾三桂股份有限公司
株式会社三桂製作所

1991 年 JASDAQ に店頭公開

1996 年 品質マネジメントシステム ISO 9002 認定取得

2003 年 品質マネジメントシステム ISO 9001・2000 認定取得

2004 年 環境マネジメントシステム ISO14001 認定取得



会 社 理 念

自然を大切にした製品づくり、そして自然と共に生きること。

それが、私たち桂川電機の創業から現在へと続く理念です。



KIP 3100



KIP 7000



SM モーター（直動タイプ）

デジタル機器、複写機、マイクロモーター。

現在、当社の3つの主要事業分野は常に時代の先端から生まれました。先端技術を駆使することを余儀なく求められるこれら技術を開発するにあたり、その根底には自然との共生理念が脈々と受け継がれてきました。

ご高覧ありがとうございました。

わが国経済は、昨年秋以降の金融危機による世界同時不況の影響で、けん引役の輸出や設備投資が落ち込み、企業収益は大幅な減益となりました。

このような中、当社グループといたしましては、営業体制の強化と効率化および保守体制の効率化を図り、製販統合により、市場ニーズに迅速に対応できる体制を構築し、更に、新規の製品開発に力を入れ、付加価値の高い製品を市場に提供して、競争力のある製品を継続的に適時に提供して、市場の拡大に努めてまいる所存です。